

『健康・医療クラウドWG』 活動計画書

KDDI

1.WGの概要

目標

- ・ライフケアを軸に、健康・医療のみならず様々なライフログデータをクラウド上に蓄積・分析し新たな形で出力することで、国民のQOLを向上させ、生活習慣病予防の促進を図る。またサービス提供者への新市場を創出する。
- ・「健康・医療クラウド」に必要とされる諸条件(技術面、セキュリティ等)を明確化し、その条件を満たす「健康・医療クラウド」プロトタイプを構築する。

課題認識

少子高齢化への社会変化の中で急増する医療費を適正化する手段の1つとして、ITを利用した効率の良い社会インフラの形成が必要となっている。クラウドを活用した国民主導のIT化を促進すべく、インタフェース標準化やセキュリティ等の諸課題を解決し、新たな市場を創出できるモデルの構築及び検証を行う。

具体的検討項目

STEP1:情報収集

- ・健康・医療業界、及び蓄積対象とするライフログに関わる業界へのヒアリング。
- ・ヒアリング結果も踏まえた課題整理

STEP2:課題検討

- ・セキュリティ等構築技術関連、及びログデータ活用関連それぞれで課題整理、解決策の検討。
- ・それらも踏まえたクラウドの要件定義、システム設計。

STEP3:具体化

- ・検討結果に沿ったプロトタイプ of 構築と動作確認
- ・クラウド上の価値をサービス(ビジネス)として具現化するSaaS基盤(サービス)の検討。

導入効果(目標)

健康・医療クラウドにより国民の健康に関する意識を高め、サービス提供者には市場を広げるための新たな価値を提供することで、健康(医療・介護)を促進する良循環(正の連鎖)を構築する。

2. WGの詳細

関連要素技術、サービス、システム

健康関連機器間インタフェース、医療関連データのデータフォーマットや通信プロトコル、ストレージやネットワークのセキュリティ、共通IDを用いたサービス連携等

グローバル化関連

WGにて今後検討していく。

実施体制、役割分担

幹事

KDDI株式会社

事務局

(検討中)

メンバー

医療機関、健康医療分野の研究機関

医療・健康機器メーカー、通信機器メーカー、健康・医療システムインテグレータ、通信事業者

健保組合・保険会社、フィットネスジム、小売業者等

(全体で20社・団体程度)

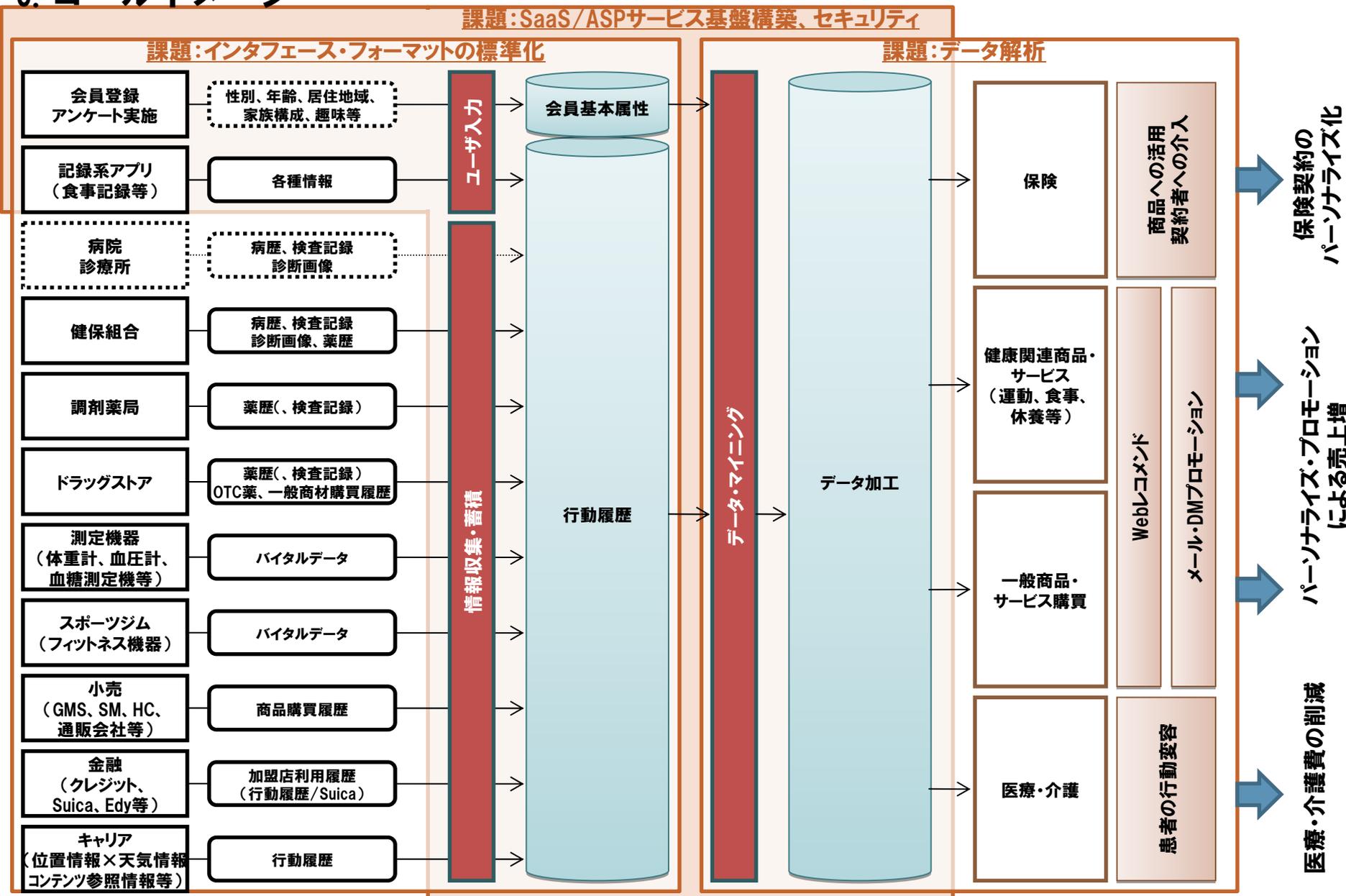
対政府要望①:予算、税制支援等

WGにて今後検討していく。

対政府対応②:制度、規制緩和等

WGにて今後検討していく。

3. ゴールイメージ



4. スケジュール

全体像

